



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社クラダシ 上場取引所 東  
 コード番号 5884 URL https://corp.kuradashi.jp/  
 代表者(役職名)代表取締役社長CEO (氏名)河村 晃平  
 問合せ先責任者(役職名)執行役員CAO コーポレート本部長 (氏名)岡村 薫 (TEL) 03-6456-2296  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	655	—	△65	—	△81	—	△81	—	△83	—
2024年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △83百万円( —%) 2024年6月期第1四半期 一百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△7.68	—
2024年6月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2025年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

3. EBITDA=営業利益+各種償却費等の非資金損益項目

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,039	962	46.9
2024年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 957百万円 2024年6月期 一百万円

(注) 2025年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年6月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,900	—	123	—	31	—	24	—	22	2.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. EBITDA=営業利益+各種償却費等の非資金損益項目

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(注) 連結範囲の重要な変更には該当していませんが、2024年8月23日付で株式会社クロスエッジの全株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期1Q	10,808,598株	2024年6月期	10,807,808株
2025年6月期1Q	一株	2024年6月期	一株
2025年6月期1Q	10,807,816株	2024年6月期1Q	10,763,358株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(企業結合等関係)	5
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より連結決算を開始しているため、前年同四半期連結累計期間及び連結会計年度末とのとの比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済活動の正常化と緩やかな回復の兆しが見られはじまりましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰や為替相場の大幅な変動による影響、食品の一斉値上げの影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、更なるユーザー体験の向上を目指したシステム及びアプリへの開発投資や、業容拡大に耐えうる強固な事業基盤の構築・新規事業への拡大のための人材登用、また、SNSを利用した広告宣伝活動への投資を継続的に行っております。

また、2024年8月23日に株式会社クロスエッジを子会社化し、冷凍弁当の宅配サービス「Dr. つるかめキッチン」事業を開始いたしました。まずは、安定した事業体制の構築を行い、今後、「EC Kuradashi」との連動性を高めるなど、持続的な成長に向けた取り組みを進めてまいります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は655,622千円、営業損失は81,169千円、経常損失は81,970千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は83,041千円となりました。

なお、当社グループは食品プラットフォーム運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,039,851千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,033,002千円、商品及び製品が127,298千円、売掛金が97,406千円、有形固定資産が8,936千円、無形固定資産が695,788千円、投資その他の資産が16,907千円であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は1,077,373千円となりました。主な内訳は、短期借入金が350,000千円、1年内返済予定の長期借入金が138,262千円、長期借入金が290,646千円であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は962,478千円となりました。主な内訳は、資本剰余金が1,030,003千円、利益剰余金が△83,041千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月8日に「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想から変更はありません。なお、連結業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,033,002
売掛金	97,406
商品及び製品	127,298
原材料及び貯蔵品	883
その他	59,627
流動資産合計	1,318,219
固定資産	
有形固定資産	8,936
無形固定資産	695,788
投資その他の資産	16,907
固定資産合計	721,632
資産合計	2,039,851
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	124,986
短期借入金	350,000
1年内返済予定の長期借入金	138,262
未払法人税等	1,071
その他	172,407
流動負債合計	786,727
固定負債	
長期借入金	290,646
固定負債合計	290,646
負債合計	1,077,373
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	10,051
資本剰余金	1,030,003
利益剰余金	△83,041
株主資本合計	957,013
新株予約権	5,464
純資産合計	962,478
負債純資産合計	2,039,851

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	655,622
売上原価	374,886
売上総利益	280,736
販売費及び一般管理費	361,905
営業損失(△)	△81,169
営業外収益	
受取利息	11
営業外収益合計	11
営業外費用	
支払利息	751
その他	60
営業外費用合計	811
経常損失(△)	△81,970
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,970
法人税、住民税及び事業税	1,071
法人税等合計	1,071
四半期純損失(△)	△83,041
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83,041

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△83,041
四半期包括利益	△83,041
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,041

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年9月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、資本金の額の減少並びに剰余金の処分を実施し、2024年9月30日付で減資の効力が発生しました。これにより、資本金が301,591千円減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えるとともに、振り替え後のその他資本剰余金189,120千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が10,051千円、資本剰余金が1,030,003千円、利益剰余金が△83,041千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品プラットフォーム運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	8,448
のれん償却額	4,488

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、株式会社クロスエッジが運営する冷凍弁当の宅配サービス「Dr. つるかめキッチン」事業の取得を目的として、株式会社クロスエッジ(以下「クロスエッジ」といいます。)の全株式を取得(以下「本株式取得」といいます。)し、本株式取得の効力発生後にクロスエッジの「Dr. つるかめキッチン」事業を除くその他の事業を会社分割(新設分割)(以下「本新設分割」といいます。)により分社化し、さらに本新設分割の効力発生後に新設分割設立会社(以下「新設会社」といいます。)の株式を同取締役会開催日現在におけるクロスエッジの株主(以下、「クロスエッジ株主」といいます。)に対して譲渡する(以下「本株式譲渡」といいます。)ことで、「Dr. つるかめキッチン事業」のみを含むクロスエッジを当社の完全子会社とする一連の取引(以下本株式取得、本新設分割、本株式譲渡をあわせて「本件取引」といいます。)を実施することを決議のうえ、2024年6月27日付でクロスエッジ株主との間で本株式取得の株式譲渡契約及び本株式譲渡の株式譲渡契約を締結し、2024年8月23日付で実施しております。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社クロスエッジ  
事業の内容 冷凍弁当の宅配サービス「Dr. つるかめキッチン」事業

## ② 企業結合を行った主な理由

クロスエッジは、Dr. つるかめキッチンの運営会社であり、美味しく健康にお召し上がりいただけるように栄養バランスを考えた冷凍弁当の宅配サービス事業を運営しております。宅配弁当市場は、成長著しい市場であり、当該市場に新規参入し、当社のブランディング・ECノウハウを活かした拡大戦略により、当該市場シェアの拡大を図るとともに、当社の食の総合ECとしてのプレゼンスを更に高めることが、今後の持続的な成長と企業価値の向上に有効であると判断し、本件取引を行うことといたしました。

本件取引の実施については、主に本件事業承継後の事業運営を円滑に実施するために現運営事業者であるクロスエッジの法人格を存続する形で事業承継をすることが、スムーズに当社が事業を開始することに資することを考慮した結果、本株式取得、本新設分割及び本株式譲渡の各取引を実行することが、総合的に勘案し、スキームとして最も適切であると判断いたしました。

## ③ 企業結合日

株式取得日 2024年8月23日  
みなし取得日 2024年8月30日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

現時点では結合後企業の名称に変更はありません。

## ⑥ 取得する議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年9月1日から2024年9月30日まで

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	518,611千円
取得原価		518,611千円

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 28,500千円

## (5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれんの金額

538,615千円

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## ② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したものであります。

## ③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。